

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0619
施設名	ひのはら保育園
施設所在地	西多摩郡檜原村357
法人名	社会福祉法人やまぶき会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然の循環「落ち葉はどうか？」

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)

自然が多い保育園であり、園の周りには多数の樹木がある。秋は枯葉がたくさんつもり、「こんなにたくさんの葉っぱで保育園が埋まらないの？」と子どもが言ったことが印象にあり、探究観察のヒントとなった。

2. 活動スケジュール

	10月	11月	12月
1.2歳児	・落ち葉ひろい ・変わった葉をみて楽しむ	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する
3.4歳児	・葉っぱの種類を調べる ・秋の生き物	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する

必要な物品の準備、購入

散歩、落ち葉拾いの時間設定

	1月	2月	3月
1.2歳児	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する
3.4歳児	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する	・枯葉の感触を感じる ・友達と共有する

報告の準備、写真

報告の準備、報告会

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

日常の活動中に負担なく探究活動できるようにした。記録用カメラ。たい肥作りにはコンポスト、鳥の巣、雨水タンクの購入。発表用にプロジェクター、スクリーンなど

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

身近にある木の葉や雑草などが季節によって色や形が変化していく様、たくさんある落ち葉がどうしてなくなっていくのかを子ども主体で調べて考えた。図鑑を見て、花が咲いたり、木が成長するのに必要な栄養などがあることを学んだ、その後、祖父母からたい肥の事を聞いた子がいて「たい肥作り」をしてみたいとの意見があり、時期的に不安があったが枯葉が多くなる季節なので挑戦してみた。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

異年齢で図書館まで散歩に行き、園の周りにある葉の種類や虫、小動物などの図鑑を見ていた、保育者が何を調べたいか聞いて、どの図鑑がいいかを教えた。興味があるものを借りてきて、乳児との合同の時間に一緒に見たり、外での遊びでは調べた葉の名前を小さい子に教えたりする姿が見られた。

活動の様子が分かる写真 2枚以上を貼付してください。

(HPなどで公開する可能性がありますので、公開可能なものを使用ください。)



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

最初は葉の色が変化する様や感触などをテーマにしようと計画していたが、園児のアイデアで最終的には「たい肥作り」になってしまった。結果的にはたい肥は完成しなかったが、園児たちは目に見える結果、何かを作る工程が継続して活動する楽しみとなる事がわかった。調べる事、作業、活動中は園児全員が楽しんで参加し、発表は興味津々で楽しく観ていた。自然が多い環境なので次年度はどうするか早めに話し合い興味を持たせるように工夫が必要と考える。保護者も巻き込み大勢で活動できないか構成を考えたい。